

桜蔭俳話会

第一三三回通信句会、選句結果

平成三十一年春。選句数は五句、うち特選一句。

(○内の数字は、特選数で、選句の内数です)

遊び過ぎ名句浮かばづ暮の春

眞壽

3点 春愁やIT時代に乗り遅れ

邦子

3点 軽装の長寿会長花の旅

邦子

3点①養花天忍び寄りくる負の遺産

守

3点①まだ漕いでほしと揺れるかふらここよ

秀夫

巢鴉や小枝くはへて一直線

ヤエ子

ぶらんこをいせいよくこぐ子等をんな

眞三

3点 北窓を開け自律神経深呼吸

のり子

3点①偶さかの風に色なす花筏

眞三

4点②散花にも地につくまでの命あり

幸枝

2点①花の風スマホの罅を撫でゐたり

則子

囀りや当に逆光乱舞せり

則子

2点 背を向けて耕人ひとり昼休み

幸子

底奏の万葉集や春の韻

守

1点 平成はうすむらさきの藤の色

直子

4点①太宰府の梅よろこべる令和の世

明美

3点 単線の待つ間長きや夕燕

友子

春場所や熱戦続く迫力よ

眞三

5点①抽斗の眠らぬ遺品春の雷

才美

1点①春の夢ふふはり出たり入つたり

才美

2点 人生の終りが見えし別れ霜

眞壽

4点 花時の又めぐりくる母白寿

安紀子

3点①囀りの見守る儀式時代終ふ

のり子

5点 ひよんひよんと猫消え行きぬ春の闇

幸

1点 天守堂の大扉や溝の桜薬

秀夫

1点 切通しへ天蓋めきし山桜

友子

13点③眠る子を夢ごと移す春座敷

幸

花見酒墓参りで会ふ兄弟

直子

1点①青春の名残り探しや春日和

安紀子

2点 料峭やテールライトの列流る

幸子

1点①青春の名残り探しや春日和

安紀子

2点 引つ越しの終わりにし庭の濃山吹

ヤエ子

1点 草餅を丸める祖母や子らの列

友子

6点②月朧ガラス細工の街に棲む

守

2点 人の世を泳ぎ切りたい花筏

眞壽

1点 ゆつたりと水脈を描きて残る鴨

幸子

住みしより挿木の育ち沈丁花

眞三

遠くより来し人と笑む灌仏会

秀夫

4点②古い受けいれ胸張つてみる竹の秋

安紀子

緑映ゆつつじてつぺん一花開

幸枝

1点 夕日浴びこの木もついに芽吹きけり

直子

3点①文明に潰さる村や花の冷え

明美

古希の身に油断禁物春の冷え

邦子

新墓地に苔むす墓石松の花

ヤエ子

1点 梅は実に卒寿傘寿の離婚ざた

才美

5点②天を蹴るみどり児の声花の雲

のり子

7点 靴音の異なる歩み臙月

幸

万葉の令和を待ちし目借時

則子

皇后さま改元の日の笑み車窓より

幸枝